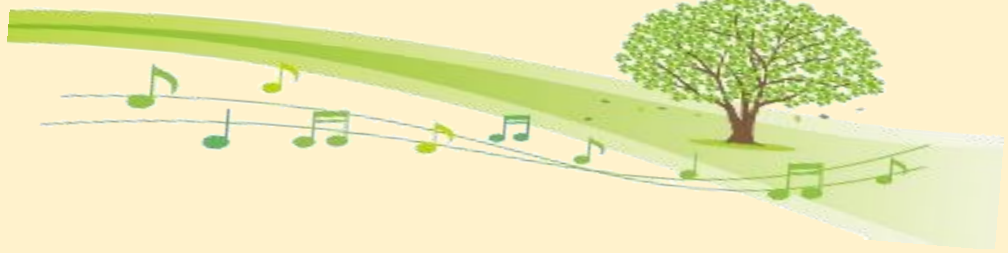


歌 詞 カ ー ド

Let's sing & dance!



①. 朧月夜 作詞:高野辰之 / 作曲:岡野貞一

1. 菜の花^{ばなけ}畠^{はたけ}に 入り日^{うす}薄^{うす}れ
見わたす山の端^は 霞^{かすみ}ふかし
春風そよふく 空を見れば
夕月^{ゆうづき}かかりて におい^あひ^ひし
2. 里^はわの火^ひ影^{かげ}も 森の色も
田中^この小^こ路^{みち}を たどる人も
蛙^{かわづ}のなくねも かねの音も
さながら霞^{ねす}める 朧^{おぼろ}月夜

③ 茶摘み 文部省唱歌

1. 夏も近づく 八十八夜
野にも山にも 若葉が茂る
あれに見えるは 茶摘みじゃないか
西^{あかね}だすきに 管^{すが}の笠
2. 白^{ひより}和^りつづきの 今日^{けふ}此^{こゝ}の頃^{ころ}を
心のどかに 摘みつつ歌ふ
摘めよ摘め摘め 摘まねばならぬ
摘まにゃ 日本の茶にならぬ

② みかんの花咲く丘

作詞:加藤 省吾 / 作曲:海沼実

1. みかんの花が 咲いている
思い出の道 丘の道
はるかに見える 青い海
お船が遠く かすんでる
2. 黒い煙を はきながら
お船は どこへ行くのでしょうか
波に揺られて 島のかげ
汽笛がぼうと 鳴りました
3. 何^{いづ}時^{とき}か来た丘 母さんと
一緒にながめた あの島よ
今日も一人で 見ていると
やさしい母さん 思われる



④ 背くらべ 作詞:海野 厚 / 作曲:中山晋平

1. 柱の傷は 一^{きず}昨^{おとし}年の
五月五日の 背くらべ
粽^{ちまき}たべたべ 兄^{あに}さんが
計^{はか}ってくれた 背^{たけ}の丈
昨^{きのう}日くらべりや 何^{なん}のこと
や^やと羽^ひ織^おの 紐^{たけ}の丈
2. 柱^{ちた}に凭^たれりや すぐ見える
遠^{とほ}いお山も 背くらべ
雲の上まで 顔だして
て^せん^{のび}でに 背伸^{せのび}していても
雪^{ゆき}の帽子^{ぼうし}を 脱^ぬいでさえ
一^{いち}はやっぱり 富士^{ふじ}の山

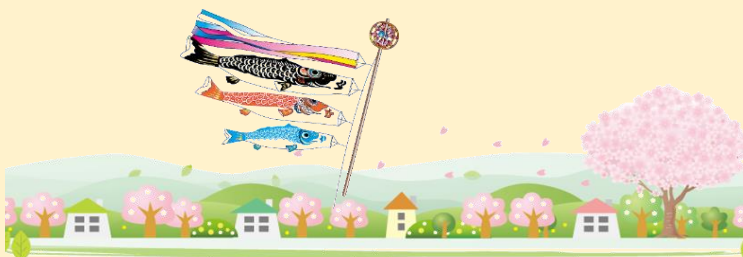
⑤ 鯉のぼり 作詞:不詳 / 作曲:弘田龍太郎

1. 鯉^{いらが}の波と 雲の波
重なる波の 中^{なか}空^{ぞら}
橋^{たちばな} かおる 朝風^{あそかぜ}に
高く泳ぐや 鯉^{こい}のぼり
2. 開ける広^{ひろ}き 其^{その}の口^{くち}に
舟^{ふね}をも呑^のまん 様^{さま}見えて
ゆたかに振^{ふる}う 尾^お鰭^{ひれ}には
物^{もの}に動^{どう}ぜぬ 姿^{すがた}あり
3. 百^{もも}瀬^せの滝^{たき}を 登^{のぼ}りなば
忽^{たちま}ち竜^{りゅう}に なりぬべき
わが身^みに似^によや 男^{おの}子^こと
空^{そら}に躍^{おど}るや 鯉^{こい}のぼり

⑥ 北国の春 作詞：いではく / 作曲 / 遠藤 実

1. 白樺 青空 南風
こぶし咲く あの丘
北国の ああ 北国の春
季節が都会では わからないだと
届いたおふくろの 小さな包み
あの故郷へ 帰ろかな かえろかな
2. 雪どけ せせらぎ 丸木橋
落^{からまつ}葉松の 芽^めがふく
北国の ああ 北国の春
好きだとおたがいに 言い出せないまま
別れてもう五年 あのこはどうしてる
あの故郷へ 帰ろかな かえろかな

3. 山吹き 朝露 水車小屋
わらべ唄 聞こえる
北国の ああ 北国の春
あにきもおやじ似で 無口なふたりが
たまには酒でも 飲んでるだろうか
あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな



⑦ 幸せなら手をたたこう

作詞：きむらりひと / アメリカ民謡

1. 幸せなら 手をたたこう
幸せなら 手をたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 手をたたこう
2. 幸せなら 足ならそう
幸せなら 足ならそう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 足ならそう
3. 幸せなら 肩たたこう
幸せなら 肩たたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 肩たたこう
4. 幸せなら 指ならそ
幸せなら 指ならそ
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 指ならそ
5. 幸せなら 手をたたこう
幸せなら 手をたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 手をたたこう

⑧ オーラリー

作詞：安田二郎 / アメリカ民謡

1. 過ぎゆく春を 告げる鳥
いまも歌うは 愛の歌
オーラリー オーラリー ^{うるわ}麗しの
^{こがね}黄金の髪は 日に輝く
2. 尽きぬ思い出 胸に秘め
心に呼ぶは ^{いと}愛し君
オーラリー オーラリー ^{うるわ}麗しの
^{こがね}黄金の髪は 日に輝く ♪

3. Love me tender, love me sweet

Never let me go
You have made my life complete
And I love you so
Love me tender, love me true
All my dreams fulfilled
For my darling, I love you
And I always will



⑨ バラが咲いた 作詞・作曲：浜口庫之助

1. バラが咲いた バラが咲いた 真赤なバラが
淋しかった ぼくの庭に バラが咲いた
たったひとつ 咲いたバラ 小さなバラで
淋しかった ぼくの庭が 明るくなった
バラよ バラよ 小さなバラ
そのままに そこに咲いてておくれ
バラが咲いた バラが咲いた 真赤なバラで
淋しかった ぼくの庭が 明るくなった
2. バラが散った バラが散った いつの間にか
ぼくの庭は 前のように 淋しくなった
ぼくの庭の バラは散って しまったけれど
淋しかった ぼくの心に バラが咲いた
バラよ バラよ 心のバラ
いつまでも ここで咲いてておくれ
バラが咲いた バラが咲いた ぼくの心に
いつまでも 散らない 真赤なバラが

⑩ 君といつまでも

作詞:岩谷時子 / 作曲: 弾 厚作

二人を 夕やみがつつむ この窓辺に
あしたも 素晴らしい ^{しあわ} 幸せがくるだろう
君の瞳 ^{ひとみ}は 星と輝 ^{かがや}き
恋する この胸は ^{ほのお} 炎と燃えている
大空 そめてゆく 夕陽 色あせても
二人の心は 変らない ^{いつ} 何時までも

(セリフ)

「 幸せだなァ ボクは君といる時が いちばん
幸せなんだ！
ボクは死ぬまで 君を離さないぞ
いいだろ！ 」

君はそよ風に 髪を梳 ^とかせ
やさしく この僕の 窓 ^{しとね}にしておくれ
今宵も日がくれて 時は去りゆくとも
二人の想 ^{おも}いは 変らない ^{いつ} 何時までも



⑪ 手のひらを太陽に

作詞：やなせひろし / 作曲：いずみたく

1. ぼくらはみんな 生きている
生きているから 歌うんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから かなしいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮 ^{ちしお}
ミミズだって オケラだって アメンボだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ
2. ぼくらはみんな 生きている
生きているから 笑うんだ
僕らはみんな 生きている
生きているから うれしいんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮 ^{ちしお}
トンボだって カエルだって ミツバチだって
みんな みんな生きているんだ
友だちなんだ
3. ぼくらはみんな 生きている
生きているから おどるんだ
ぼくらはみんな 生きている
生きているから 愛するんだ
手のひらを太陽に すかしてみれば
まっかに流れる ぼくの血潮 ^{ちしお}
スズメだって イナゴだって ミツバチだって
みんな みんな生きているんだ